

平成28年6月16日  
(資料提供)

(事務担当)  
所属名：農林総合研究センター  
農業試験場 総合研究部  
病害虫防除室  
直通：257-6972

### 平成28年度病害虫発生予報第3号について

今後発生が予想される、水稻、大豆、果樹、野菜・花きの病害虫の、発生時期や発生量、防除上の注意事項などを掲載する。

1 予報期間 6月下旬～7月上旬

2 予報内容

(1) 水稻

**いもち病**の発生は**並**と予想される。一旦発生すると急進展する恐れがある。発生状況の把握に努め、発病が認められたら直ちに防除する。

**紋枯病**の発生は**やや多**と予想される。前年に発生したほ場や茎数の多いほ場は多発する可能性がある。粉剤での防除は、イネの出穂前10～14日が適期である。

**斑点米カメムシ類**の発生は**多**と予想される。生息密度を下げるため、7月上旬まで生育場所となる農道、畦畔、休耕田および遊休地等の除草を徹底する。

【病害虫発生予察注意報第1号（平成28年6月16日付）参照】

(2) 大豆

**アブラムシ類**の発生は**やや多**と予想される。発生を認めた場合は直ちに防除を実施する。

(3) 果樹

**カメムシ類**（おもにクサギカメムシ）の発生は**多**と予想される。発生を認められた場合は直ちに防除する。

**アブラムシ類、ハダニ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一薬剤を連用しない

(4) 野菜・花き

**スイカつる枯病**の発生は**やや多**と予想される。発病初期の防除を徹底する。ほ場の排水に努める。

**オオタバコガ**の発生は**多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。施設栽培では、開口部に寒冷紗等を設置して成虫の侵入を防止する。

**アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一薬剤を連用しない

**ネキリムシ類**の発生は**やや多**と予想される。は種時又は定植時の防除を徹底する。ほ場およびほ場周辺の除草をこまめに行う。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。